

海外安全対策情報（第2四半期）

1 社会・治安情勢

総じて平穏、安全だが、窃盗などの一般犯罪は一定程度発生しており、特に夏期には外国人観光客を狙った犯行が増加する傾向にあるため、注意を要する。また、二輪車のヘルメット未着用等により交通事故死者数が他の欧州諸国と比較して多く、運転時には十分な注意が必要。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1) 外国人女性や子ども7人を連続殺害した被疑者が4月に逮捕され、大きな社会的反響を呼んだ。それまでの警察の対応に批判が集まり、司法大臣が辞任、警察長官が辞任した。

(2) キプロス警察の最新の犯罪発生件数（2018年上半期統計）は以下のとおり。

殺人： 7件（前年同期比350%）

強姦性交： 14件（同200%）

放火： 91件（同83%）

強盗： 49件（同88%）

侵入窃盗： 539件（同73%）

(3) 犯罪組織同士の対立抗争で、ニコシアやリマソールなどで、殺人、発砲事件等が散発的に発生している。

(4) 邦人被害事案

把握していない。

3 テロ・爆弾事件発生状況

7月1日未明に、シリアから飛来した地对空ミサイルがニコシアから約20キロの地点に着弾したが、標的を外して意図せずに落下したものと見られている（落下地点は、キプロスのトルコ系住民が支配する「北キプロス・トルコ共和国」と称される被占領地域）

4 誘拐・脅迫事件発生状況

邦人等に対する誘拐事件及び脅迫事件は把握していない。

5 日本企業の安全に関する諸問題

把握していない。